

のしがひ報広

No.159

2019.2.1

人口1708人

(男)844人

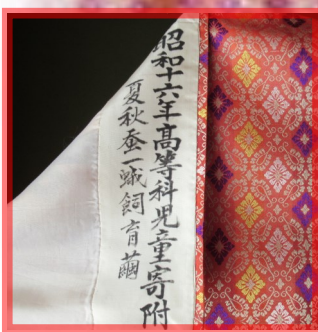
(女)864人

世帯数

634世帯

(H31.1.1現在)

謹賀新年



コミセンの宝物

いきなり一面に真っ赤な布が掲載され、驚かれたかと思います。実は、コミセンに写真のような見事な錦が保管されています。もともとは小学校に保管されていたものです。縦横、一間(1.8m×1.8m)の錦で、虫喰いはどこにもなく、白い裏地には「昭和十六年度高等科児童寄附 夏秋蚕一歳飼育繭」とあります。

この年度の卒業生が飼育した夏秋蚕の生糸で織られた生地を縫って作られたもので、儀式で使用されたものではないかと思われます。これほど良い状態で80年もの長期間保管されたものです。高等科の卒業作品だとすると現在90〜91歳だと思っています。制作に関わった方や事情をご存知の方はコミセンまで一報頂けると幸いです。

錦の布の他にも、大正から昭和初期の卒業写真、習字等が数点保管されています。

コミセンの改修工事完了後、数点ずつ展示させて頂きます。お知り合いの方の作品や写真があるかもしれません。コミセンにお越しいただいた折りにご覧下さい。

ラリーって何？

身近な車で速さを競うモータースポーツのことです。サーキットではなく、一般の公道を使い行います。一斉に走って競争するのではなく、いくつかの競技区間を1台ずつタイムを計測し、その積算タイムで勝敗を競うモータースポーツのことです。

「レッキ」って何？

ラリーに使われる道路を事前に試走することです。ラリー競技では、一般公道を一時的に閉鎖したタイムトライアル区間(SS)を全力走行します。サーキットと違いSSは、一般道のため、先が見通せないなど危険なポイントもあります。そこで、競技本番の前にSSを事前走行し、直線距離やコーナーの特徴、注意点などを確認して、その情報をまとめ本番に生かします。そのため、前日のレッキはとても重要です。

「0(ゼロ)カー」って何？

SSの競技開始15分前にコースを試走する車です。全開走行に近い走りでコースの安全確認を行います。ゼッケン0番(出走順が1番の前)という意味でゼロカーと呼ばれています。



レッキの様子

12月1日(土)・2日(日)はラリーカーの爆音が東濃牧場と根の上高原に響き渡りました。昨年に引き続き、恵那市で『L1 ラリーIN 恵那』が開催されました。昨年度はコースの関係で一般の人が観戦できませんでした。今回は東濃牧場と根の上高原に場所を変え、恵那山荘周辺では、一般の人が観戦できるようにしました。日頃は静かな根の上高原ですが、好天に恵まれ、2日には400人の観客で賑わい、ラリーの迫力に酔いしれました。

東野からは開発振興会、生産森林組合関係者、東雲会、民生委員、交通安全協会、消防団等の60名がボランティアとして参加してくださいました。また、『ふれんどリー』『虹の会』『恵那山荘』の皆さんが、五平餅や飲み物、焼きそば等の販売をしてくださり、観客に販売していただきました。

終日ありがとうございました。



ボランティアスタッフ帽子



ボランティアの皆さん

L1 RALLY in 恵那2018

12月2日(日) サテライト会場 根の上高原

レース本番



高速で疾走する0カー



特等席からの観戦



ボランティア・スタッフの皆さん



6:30 ボランティア集合



古屋圭司衆議院議員登場



恵那山荘のスタッフ



ふれんどリー・虹の会



クラシックカー大集合



地域の話題

こども園の餅つき 12月13日(木)

「ペタンペタン」という音と「1・2・3・4・・・」という元気な声がこども園に広がります。こども園では今年も餅つきの音が響きました。

はじめに育友会の役員さんが餅米をつき、餅の状態にします。蒸した餅米についても飛び

散らない状態になったら、いよいよ子ども達の登場。全員が10回ずつつき、餅になっていきます。役員さんに助けてもらいながら重い杵を振り上げ、臼の餅米めがけ、ペタンペタン。全員がつき終わる頃には柔らかい餅に変身。2臼目は振興会会長、小学校の校長先生、東雲会の役員さんが模範の餅つき。その後、園児達が5回ずつついてあつという間においし



そうな餅になりました。



餅つき後、部屋に入りお客さんや保護者と一緒につきたてのお餅を食べました。アンコやゴマ、きな



粉をまぶして食べました。お母さんが作ってくださった豚汁やごま和えはとてもおいしく、お餅や副菜をおかわりする子がたくさんいました。

おかわりください。

た。

日本の良き伝統を体験できた一日でした。

東野小収穫祭 12月4日(火)

東野小学校の4・5年生が、田植えや稲刈りで汗を流し収穫できた米を使い、収穫祭を行いました。

U字溝の中の炭に着火が出来ず、四苦八苦。ようやく木片の火が炭に燃え移り、五平餅の白焼き開始。タレを塗ってからは、焦げないように何度もひっくり返し、五平餅の完成。

調理室で稲作指導の講師としてお世話になった丸山文憲さん、千藤重明さん、JA食農リーダーの皆さん等をお客様に迎え、食事をしました。



3本の大きな五平餅や1年前から仕込んだ味噌を使った豚汁をおいしそうにペロツと平らげる子どももいました。



「安全運転啓発」車両パレード 12月14日(金)

今年度から「相見(そうけん)隊シール」を貼った恵那市壮健クラブ会員の車と恵那署のパトカーが列を連ね、車両パレードを行っています。



東野でも東雲連合会の役員さんがコミセンに集合し、東野各地をパレードしました。寒い中、安全運転啓発パレードを通してドライバーに安全運転を呼びかけていただきました。東雲連合会の役員さんありがとうございました。



恵那三学塾 第1回先人学習講座が開催されました

11月17日(土)に下染戸の永野稔昌さん(元県園芸蚕糸課管理監)が『恵那の先人30人』の一人、『実験風穴種の飼方』を著わした地元の蚕種事業家、伊藤武右衛門氏の著書や蚕種の製造について講演されました。



中公民館会議室には満員の聴衆が集まり、熱心に永野さんのお話を聞いていました。豊富な資料を用意され、専門的な話だけでなく、伊藤氏の人となりも教えていただき、初心者にも分かりやすいお話でした。



山本風穴

東野の安全と安心のために

12月26日(水)午後9時30分からコミセンで消防団の激励会が行われました。地域の関係者として千藤市議会議員、振興会長、東野生森組合長をはじめ、まとい会の方々が出席されました。



消防団に向けて、小坂恵那市長をはじめ恵那警察署長、市議会副議長、市まとい会、消防本部関係者のみな様から激励を受け夜警に出発しました。今期最強の冬将軍の居座る中、夜警は12月30日まで行われました。赤い回転灯を光らせながら、東野に安心と安全を支えてくださる消防団の皆さんの地道な活動に感謝です。

地震の揺れを感じた場合、あるいは緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずにまずは身の安全を確保してください。

そして、落ち着いてテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンのワンセグやネット通信機能など、様々な手段を使って正確な情報の把握に努めましょう。

家庭で屋内にいるとき

- ・家具の移動や落下物から身を守るため、頭を保護しながら大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる
- ・あわてて外に飛び出さない
- ・料理や暖房などで火を使っている場合、その場で火を消せるときは火の始末、火元から離れているときは無理に火を消しに行かない
- ・扉を開けて避難路を確保する



人が大勢いる施設(大規模店舗などの施設)にいるとき

- ・あわてずに施設の係員や従業員などの指示に従う
- ・その場で頭を保護し、安全な姿勢をとる
- ・吊り下がっている照明などの下から退避する
- ・あわてて出口や階段に殺到しない

屋外にいるとき

- ・ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる
- ・ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れる



山やがけ付近にいるとき ・落石やがけ崩れに注意し、できるだけその場から離れる

自動車運転中

- ・後続の運転手が緊急地震速報を聞いているとは限らないため、自動車運転中は、あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず緩やかに速度を落とす
- ・ハザードランプを点灯して周りの車に注意を促し、道路の左側に停止する



※外出中に大都市で地震に遭遇した時の望ましい行動は……

まずは、身の安全を確保した後、むやみに移動を開始しないことが基本！安全な場所にとどまることを考えましょう。

- ・道路では余震で頭上から物が落下してきたり、道中に火災が起こっていたりするなど、数多くの危険が予想されます
- ・駅周辺等大混雑している場所では、人が将棋倒しになる集団転倒が起きやすくなります
- ・発生3日程度は火災の発生や救助・救急活動優先のため、混乱状態が続きます。

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震などでは、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしたりしました。大地震が発生したときには「家具は必ず倒れるもの」と考えて、転倒防止対策を考えておく必要があります。

※家具が転倒しないよう、家具は壁に固定しましょう

※寝室や子ども部屋には、できるだけ家具を置かないようにしましょう。置く場合も、なるべく背の低い家具にするとともに、倒れた時に出入り口をふさいだりしないよう、家具の向きや配置を工夫しましょう

※手の届くところに、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておきましょう



東野のドンドクイズ

正月の風物詩のドンドが今年も行われました。

今年は数組の子ども会や有志によって、1月12日頃組み立てられ、13日（日）に行われました。

かつては各子ども会毎に行われていましたが、児童数の減少のため、あまり見られないようになりました。ドンドの火で書き初めを燃やしたり、菱餅を焼いたりする楽しい子どもや地域の行事でした。

南大門の丸山益夫さん（故人）が昭和63年度に作られていたドンドを撮影した写真を丸山文憲さんからお借りしました。どの子ども会のドンドかわかりますか？背景の山、ほ場整備前の田んぼ、建物をヒントに推理してみてください。



今年のドンド



A



D



C



B



G



F



E



J



I



H



根の上高原 どんど焼き

根の上高原の冬の行事としてすっかり定着しました。新春書き初め、雪中餅つき体験、福豆まき等多彩な行事を行っています。



L



K

ドンドクイズ 解答

Q 餅つき、川野小、戸下、上、門
A 餅つき、川野小、戸下、上、門

くっつくからまじったか？

ドンド焼き

かつては、一月四日の朝に各家で取り外した門松を、子どもが貰い歩いて川原や空き地などに積み上げ、十五日正月（小正月）に、燃やしていたようです。以前は、門松の他に少々のお金も集めていたようです。

昔は、下の方を広さ4畳半ぐらいの小さな小屋のようにし、数日間はその中で子どもが餅を焼いて食べたり、集めたお金で菓子を買ってきて食べたそうです。子ども達は、小屋の内外で遊びながら、他の分団の子ども達がやってきてドンドを壊されないように見張っていました。（成城大学文化史ゼミナール編集・発行『恵那市東野民俗』より抜粋しました。）

ドンド作りは、自治会の大人も集まる正月恒例の行事でした。作り方は子ども会毎に異なり、材料も微妙に異なっていました。

ドンドの当日は、早朝から子ども達が、「ドンドー」と大きな声でふれを出しながら自治会を回りまわした。まだ夜が明けない早朝6時頃点火。ドンドの火で書き初めを燃やしたり菱餅を焼いたりする子どもの行事でした。

真っ赤な炎が夜空を焦がす様は勇壮なものでした。

文芸

東野の郷土史に造詣が深かった長谷川多平さん（故人）が小学校の探検クラブの講師として作られた教材を『東野の歴史の詩』という冊子にまとめました。（平成10年3月）

史跡、地名の由来、昔話などを短い詩でユーモラスにまとめています。その一部を転載させていただきます。

東野の美林

天保の年の 山火事で
草ばかりの 山はだに
先覚者数人 考えて
木を植えたのが 明治十三年
金原明善も 植林説いた
植えた植えた 村山全部
ひのきに杉に 計画立てて
今では美林の 村となる



東野の開墾

お米が食べたい 田がほしい
県の役人 可知貫一さんの
話を聞いて 保古池造
り
水を引いて 白坂一帯
百町歩の 田や畑
昔の苦勞が この八〇年
実る稲穂は 古田並み
記念碑作って たたえます



山本風穴

一番暑い夏にでも 冷風吹き出る
山本ゴウロに 穴 掘って
冷蔵庫がわりに 風穴造った
昔の人の 考えだ
蚕の種も 風穴へ
ふか（孵化）を考え 出すとき選ぶ
それで蚕は 何時でも飼える
全国売って おおもうけ



おおわご遺跡

花無山の にしみなみ
おおわご遺跡が ありました
阿木川ダムの 建設で
水の底に なる予定
さっそく発掘 調査する
縄文土器の カメ・ツボ・ハチに
須恵器・土師器に 山茶碗
縄文・古墳の 複合遺跡

恵東（えとう）座

江戸の時代が 中ほど過ぎて
皆で楽しく 村芝居
始めましたよ 東野村も
嘉永六年 小屋建てて
恵那の東で 恵東座と
名付けて村中 大娯楽
弁当さげて 見た小屋も
老朽 やむなく こわされた



八坂神社

うつそうと繁る 天王の森に
神代の時代に あばれたミコト
その名が スサノオノミコトです
改心して 出雲の国へ
八岐（やまた）の大蛇 退治して
悪い病気を 追い払い
害虫たちも にげて行く
祀つてあげたよ 八坂の宮に



向島阿弥陀堂

西行さんが お迎えた
阿弥陀如来の 仏様
小山にお堂建て 安置する
時代は過ぎて 五〇〇年
村人寄り合い 建てかえて
石造物に 作り上げた
御利益あると 伝わって
多数のお参り 繁盛する



広田神社

昔 むかし 三五の沢に
祀つてあった 神様が
雨に流され 途中の岩に
乗ったところを 拾い上げ
祀りましたよ 万場の山に
仲哀天皇の 奥方の
神功皇后の 御神体
広田神社で ございます



貴船神社

京都は愛宕の 鞍馬の村の
貴船の山に 鎮座する
水事を司る クラオカミノカミ
雨を降らせます 雨も止めます
灌漑・養蚕（ようざん） 霊験あり
お江戸の時代 寛文五年
迎えて里に 御利益を
願ひし染戸の 地に祀る



若宮神社

八幡様と したわれし
応神天皇の その御子が
若宮 若宮 仁徳天皇
神に親あり 子供あり
親子の霊を 守ります
若宮八幡 神社として
東野若宮地に 守りしが
今は仲良く 貴船の神社

度会神社

松が二本 あったげな
お伊勢の松と 誰か言う
当時の村長 思いつき
伊勢まで行つて 迎えしは
皇大神の 御神体
度会神社と 建てました
和泉の国から 石屋さん
御神燈建てた 泉州石工



金原明善（きんばらめいぜん）と東野



この扁額は旧東野村役場応接室に掲げられていたものです。現在はコミュニティセンター内の東野生産森林組合事務室に掲げられています。「偉哉山林之富」と書かれています。

静岡県で植林事業や実業家として活躍された金原明善翁が明治40年に東野に来村し、講演した年に揮毫されたものです。明善翁は「大水の害を防ぐには、山に木を植えなければならない。」と説いた人です。来村の折に小野川に記念植林を行い、併せて20円を寄付されました。明治42年にも再度来村し山林を視察されています。

東野では江戸の末期に大火災が起き、保古山は立木の少ない草山になってしまいました。

山は、田や畑の肥料として草を刈るための場所として大

切にされてはいましたが、木を植えるという発想はなく、山は荒廃してしまいました。そのため、明治29年に村内で協議し、スギ・マツ・ヒノキ・モミ、クリ、サワラ・ツガ・ヒメコマツの8種類の伐採を禁止し、スギ・ヒノキを学林として造林を始めました。しかし「目の前の水田の肥料の方が大事だ」と反対する人もいました。山に木を植えることが大切だと考えた人々は、根気よく反対する人たちを説得しました。

この頃に東野を訪れたのが明善翁でした。明善翁に励まされ、東野村では植林が広がっていきました。明治44年に、村有林計画が作られ、毎年植林をすることになり、大正11年までに奥山全部の植林が完成しました。東野の山林育成の礎を築かれた金原明善を祀った明善神社（静岡県浜松市）には東野生産森林組合などの山林関係者が100年経った今でも感謝の意を込めて、年に1回参拝しています。



金原明善翁
東野コミュニティセンター蔵

宗久寺の地藏

宗久寺の横に写真のような石の地藏尊が祀られています。恵那市「はなしとうた」には次のように書かれています。

今から500年前、東

野の里で戦傷を負った奥州（東北地方）の太田という武士が、「自分が死んだ後は、東野に地藏尊を祀って供養してほしい」と遺言し、いくらかのお金を渡して息が絶えたそうです。

しかし、その頃は戦国時代で、地藏尊を祀ることはできません。江戸時代になり、武士の夢を見た村人によって、地藏が平の定蓮寺境内に地藏尊を祀りました。しかしたびたびの山崩れによつて、地藏尊は土砂に埋まってしまつて、一時は行方不明になっていました。江戸時代の中頃、定蓮寺川がはん濫したとき、崩れた土砂の中から地藏尊が姿を現したため、地藏平に祀りました。

文政（江戸時代の終わりの頃）年間に、足の不自由な人が家族と一緒に、全国を回って神社仏閣をお参りしていました。神仏に歩けるようになりたいとお参りしていましたが、ご利益はありません。半ばあきらめているところで、東野の地藏尊の霊験を聞き、東野にやってきました。

現在の地藏平

とお参りしていましたが、ご利益はありません。半ばあきらめているところで、東野の地藏尊の霊験を聞き、東野にやってきました。



東野に着いた日から21日の間、一心に祈願しました。その甲斐があつてか、突然その人の足が立ち、自由に歩くことができるようになりました。家族も大喜びで、貯めたお金で1反3畝（13アール）の田を買い、感謝の心を込めて地藏尊に奉納し、喜び勇んで帰って行きました。その土地は今では小学校の敷地の一部になっています。この田を地藏田と呼びました。

明治初年、地藏平は耕地整理によつて開墾されることになり、そのとき地藏尊は宗久寺に移されました。大正6年頃から地藏田から上がる収益によつて、毎月4月24日に盛大な地藏祭が行われました。昭和11年に地藏田は小学校の運動場拡張工事が行われ、小学校の敷地の一部になり、地藏田はなくなりましたが地藏祭は続き、今も行われています。

また、昭和13年には、戦いでなくなった武士の子孫であるという福島県会津若松市の太田けささんという女性が宗久寺を訪れ、地藏尊を参拝したことがあつたそうです。

東野にもこのような昔話がたくさん残っています。この話は宗久寺の地藏のいわれだけでなく、地藏平では過去何度も山崩れがあつたことを今に伝えています。広田神社の山崩れや山崩れの意味の雑（なぎ）の文字を使つた「大雑」という地名も、過去から現在に伝えられているメッセージです。

郷土の歴史や地名は、私たちに多くのことを伝えてくれます。

コミュニティセンター大規模修繕工事終了

『お披露目の会』と『文化サークル発表会』のお知らせ

半年にわたり、コミセンが利用できず、地域のみな様にご不便をおかけしました。

新しくなったコミセンをご覧いただきたいと願い、ご案内いたします。こぞってお披露目の会にご参加ください。

お披露目の会 3月2日(土) 8:30～

◎オープンセレモニー コミセン駐車場(雨天の場合は、1階ロビー)

挨拶 ご来賓の皆様

大規模修繕工事終了記念 餅投げ

※雨天の場合は、ロビーにて配布(先着順)

館内披露(館内見学) 文化サークル発表会



文化サークル発表会 お披露目の会終了後

～3月3日(日) 15:00

出品: こども園、小学校、地域文化サークル 等

*駐車場が狭いので、できる限り乗り合わせてご来館ください。



コミセン改修のあゆみ



10/3



10/4



10/8



10/11



10/28



10/28



10/28



11/13



12/27



1/17

お詫びと訂正

申しあげます。訂正してお詫び
中 天の名月かくす流れ雲
くは、
誤りがありません。正し
で 千藤猛司さんの俳句に
前 発行の158号の文芸
回 千藤猛司さんの俳句に

平成30年を振り返って(4月～12月) 主な行事

4月7日	こども園入園式	8月11日	第37回納涼夏祭り
	戦没者慰霊祭・愛林碑祭典	12日	地域環境美化活動
9日	小学校入学式	9月1日	秋の道づくり作業
20日	東雲会総会	2日	防災訓練
26日	開発振興会総会	17日	敬老会
5月1日	東野生産森林組合総会	23日	みのじのみのりまつり(ふるさとまちじまん)
6月16日	ほたる祭り	10月21日	東野住民ふれあい体育祭
7月28日	川遊び(中止)	28日	歌舞伎公演
7月～8月	子ども教室	11月4日	バザー・ふれあい音楽祭
		23日	白坂・豊受神宮祭典

平成30年度後期市民講座について

東野コミュニティセンターで開催予定の平成30年度後期市民講座につきまして、10月にも一度お知らせしましたが、3月開催のもので、定員に余裕のある講座につきまして、再度お知らせさせていただきます。

お申し込みにつきましては、いったん2月末で締め切らせていただきます。この機会にぜひ、皆様の趣味や教養を高めていただけるようなものを見つけていただければと思います。

講座のお申し込みの際には必ず『恵那市民大学ガイドブック』をご確認の上お申し込みください。（後期市民講座よりガイドブックの全戸配布はなくなりました。）

講座名	対象	講座内容	時間・開講日	備考
楽しい親子ヨガ	母子 10組	親子でヨガをして体をリフレッシュ させましょう	10時半～12時 3/22（金）	
楽々囲碁	一般 10名	若い方、女性もぜひご参加ください。 自分に合った打ち方ができます	14時～16時 3/9、3/23 （土）	
創作からすみ作り	子ども 12名	富士山の形ではない、オリジナルの 形のからすみを楽しく作りましょう	10時～12時半 3/16（土）	※小学生以上、 1・2・3年生は保 護者同伴
アロマバストケア	一般女性 12名	バストケアの実践、ネイル用キュー ティクルアロマオイルを手作りしま す	10時～12時 3/15（金）	
ハンドメイド・ ハーバリウム子供向け	子ども 20名	ドライフラワーをオイルに浸した今 人気のインテリアフラワーです。 ひとり2本作成します	10時～12時 3/23（土）	※小学生～高校 生、小学校1・2年 生は保護者同伴
ハンドメイド・ ハーバリウム大人向け	一般女性 20名	ドライフラワーをオイルに浸した今 人気のインテリアフラワーです。 ひとり2本作成します	14時～16時 3/16（土）	※子連れ可・託児 無し
クラフトウッドスプーン	子ども 15名	オリジナルの自分だけのスプーンを 木から手作りします	9時～12時 3/3（日）	※小学生以上
布花アートフラワー	一般 15名	布を染め、葉や花びらを切ってコ サージュを作ります	19時～20時半 3/6、3/13 （水）	※小学校高学年以 上

市民講座申込時の注意事項

■申込締切

平成31年2月28日(木) 17時まで

※FAX、お電話でのお申し込みはできません

※講座によっては定員に達し次第早期に終了させていただくこともございます
※お申し込みいただいても、最少催行人数に達しなかった場合には中止となる可能性がございます

■受付場所

中央公民館(文化センター)、市民会館、各コミュニティセンター

恵那市市民大学ガイドブック付属の『恵那市市民大学各講座申込書』に必要事項を記入の上、中央公民館、市民会館、各コミュニティセンターで講座の申し込みができます。

■受講料

講座回数×200円(講座によっては別途材料費が必要です)

※18歳未満の市民の方の受講料は無料です(材料費は必要になります)

★平成31年度前期市民講座につきましては4月から受付が始まります。楽しみにお待ちしております！



改修工事期間は図書貸出・閲覧停止で大変ご迷惑をおかけしました。改修工事終了後、3月5日(火)より新刊と共に図書コーナーも再開予定ですので、ぜひ本を借りに来てください！



【新刊紹介】

■一般書

『明智光秀東美濃物語』
『下町ロケットゴースト/ヤタガラス』
『スマホを落としただけなのに』
『こんな夜更けにバナナかよ』
『愛なき世界』
『美女は天下の回りもの』
『図説 明智光秀』
『夏井いつきの美しき、季節と日本語』
『季節のごちそうハチごはん』
…など

■児童書

『泣き虫しょったんの奇跡』
『続々さんねんないきもの事典』
『わけあって絶滅しました』
『おしりたんていプッゆきやまのしろいかいぶつ!?』
『〇〇のサバイバル』シリーズ新刊
『かいけつゾロリ』シリーズ新刊
『実戦対決』シリーズ新刊
『冒険!発見!大迷路』シリーズ新刊
…など

コミセン図書コーナー



【本を借りるときのお願い】

★借りたい本と『ほんのカード』を事務所までお持ちください

★期限(2週間)までに返却して下さい

※たくさんの方に利用していただくため、一度に借りられる本は一人につき2冊まで、借りている本がある場合は返却してから新しく借りていただきますようご協力をお願いいたします

【本について】

★ページが破れているものを見つけた場合、ご自身で修復せず職員にお知らせください！
専用のテープで修復いたします

★こんな本が読みたいけど中央図書館には入っていない…そんな場合、ぜひ本のリクエストを聞かせください。本の内容や他コミセンの排架状況を見て購入できる場合があります！

本以外にも雑誌、紙芝居を多数揃えております。これらも貸出可能ですのでご利用ください。

その他、中央図書館の本の配送希望も承っております。みなさまのご利用をお待ちしております。



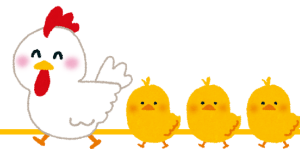


東野乳幼児学級『すくすくクラブ』では、十一月に東野こども園へ訪問しました。お店の店員に扮したこども園の園児たちが商品をたくさん用意して待っていてくれました。お寿司屋さんや忍者屋さん、園児たちの工夫や努力が詰まった商品を、子どもたちは楽しんで買いました。こども園のみなさん、ありがとうございました！

十二月は、大井、長島、東野、三郷、武並、笠置、中野方、飯地の乳幼児が一堂に会した合同クリスマス会が恵那文化センターにて開催されました！当日はサンタさん、トナカイさん、そして恵那市公式キャラクターエーナちゃんまで駆けつけてくれ、クリスマスの音楽と手遊び、ポンポンの音楽など楽しい一日となりました。サンタさんたちから貰ったプレゼントを早速開けて楽しむ子、エーナちゃんと一緒に遊ぶ子など、大勢の中でもすぐに溶け込むことができました。



♪すくすくクラブ学級生募集しています♪



乳幼児学級（乳幼児期の家庭教育学級）とは

保護者の学び場、保護者同士の交流、親子の交流を図る場です。ご家族の活動を主体とし、コミュニティセンターや社会教育指導員が支援します。東野コミュニティセンターでは『すくすくクラブ』と呼んでいます。

途中から、途中まで、1回のみ、時々になるけど…など、参加の形態は自由です。ママだけでなく、パパ、おじいちゃんおばあちゃんなど保護者の方、ぜひ一緒に！

ご興味のある方、参加してみたいという方は東野コミュニティセンターまでご連絡ください！（※参加費無料。活動によっては実費負担）



発行

東野コミュニティセンター ☎二六―二五五五
東野地域自治区運営委員会 ☎二六―二二四四

編集後記

今回は、東野の歴史やコミュニティセンターの収蔵品を取り上げました。

コミセンの前身である公民館や青年会館時代からの収蔵物や村役場のもの、小学校の収蔵品など東野にとって大切な宝物がたくさんあります。今回のコミュニティセンターの大規模改修を機会に収蔵品の確認作業をしています。また、倉庫に眠る大正から戦前・戦中の古い写真もたくさん見つかりました。

東野の歴史好きな人たちの間で話題になっている、金原明善翁の来村を記念し植林した場所を撮影した写真も見つかりました。

コミセンの改修工事が終わりましたら、コミセンの収蔵品をロビーで定期的に公開したり、「広報ひがしの」に紹介したりできたらと考えています。また、東野三学委員会で学ばせて頂いた郷土の歴史や昔話、文化財も順次紹介したいと思います。

コミセンには、平成26年に東野まちづくり委員会から発行された、「東野散策マップ」があります。これは、東野にある文化財を分かりやすく紹介した地図です。このマップを片手にご家族で東野を散策されたらどうでしょうか？身近な地域を散策すると、意外な発見や驚きがあります。

まもなく春になります。遠くへの旅行も楽しいのですが、郷土の散歩もまた楽しいものです。（杉）